

本市のプラスチックごみの回収について



齋藤 光浩 議員

質問…プラスチックごみの回収について、今後どのように進めていくのか本市の考えを伺います。

答弁…プラスチック製品ごみの分別と再資源化の取組には、新たに指定ごみ袋の作成や収集体制の構築、再資源化するための事業者への引渡し方法などを決定し、市民の皆様には新たな分別をして排出することが必要に

なります。プラスチック製品ごみの取組については、全国的なことですが、国の指針等がまだはつきりと明示されている状況ではありません。現在本市の検討状況としては、那須塩原市、那須町、広域クリーンセンター大田原と意見交換などを実施、今後取組の方向など共通理解を深めているところです。また、県内市町の取組としても、県か

ら情報収集しているところで、具体的な実施時期、実施方法などについては現在決まっていないうのが現状です。今後プラスチック製品ごみの分別収集の実施時期や分別方法等が具体的にになれば、分別方法の資料を配布するなど、市民の皆様には十分な周知期間を設けて実施していきたいと考えています。

一般質問



伊賀 純 議員

大田原市におけるケアラー、ヤングケアラーにむけた対策と支援、今後について

質問…ヤングケアラー支援の取組について伺います。

答弁…家族のケアを行うことで子供の成育や学習に支障が出るのが心配されていますが、学校等において子供から聞き取りを行い、家庭環境等により子供の成長に悪影響が懸念される場合は子ども幸福課に情報提供し、介護保険や障害者支援制度を交えた利用調整を行っています。

質問…問題は、よくある手伝いとは違う事に気づけない事であり、きちんと実態把握が必要ではないのか、見解を伺います。

答弁…担任が児童生徒の家を必ず訪問し調査するシステムで対応しています。

質問…ヤングケアラーの当事者の声を受け止めるとの観点から、例えば「困ったこと何でも話してみても、何でも聞くよ窓口」

を、ツイッター、ラインなどのSNSを活用して、臨床心理士などの専門家が話し相手になる等、支援につなげていく窓口づくりができないか伺います。
答弁…令和4年度の組織体制は現時点において固まっておりますが、今後庁内の関係部署と協議をして、必要があるかどうかを含めた上で検討してまいりたいと考えております。